

# 「これから」をいきる みんなの学校

千葉工業大学デザイン科学科  
教授 倉斗綾子



※学生が描いた倉斗の肖像画

## 自己紹介

氏名：倉斗 綾子　くらかず りょうこ

研究分野：建築計画・施設計画

（学校・教育施設・こどもの環境）

勤務先：千葉工業大学創造工学部

デザイン科学科

「人と環境のデザイン研究室」

文部科学省

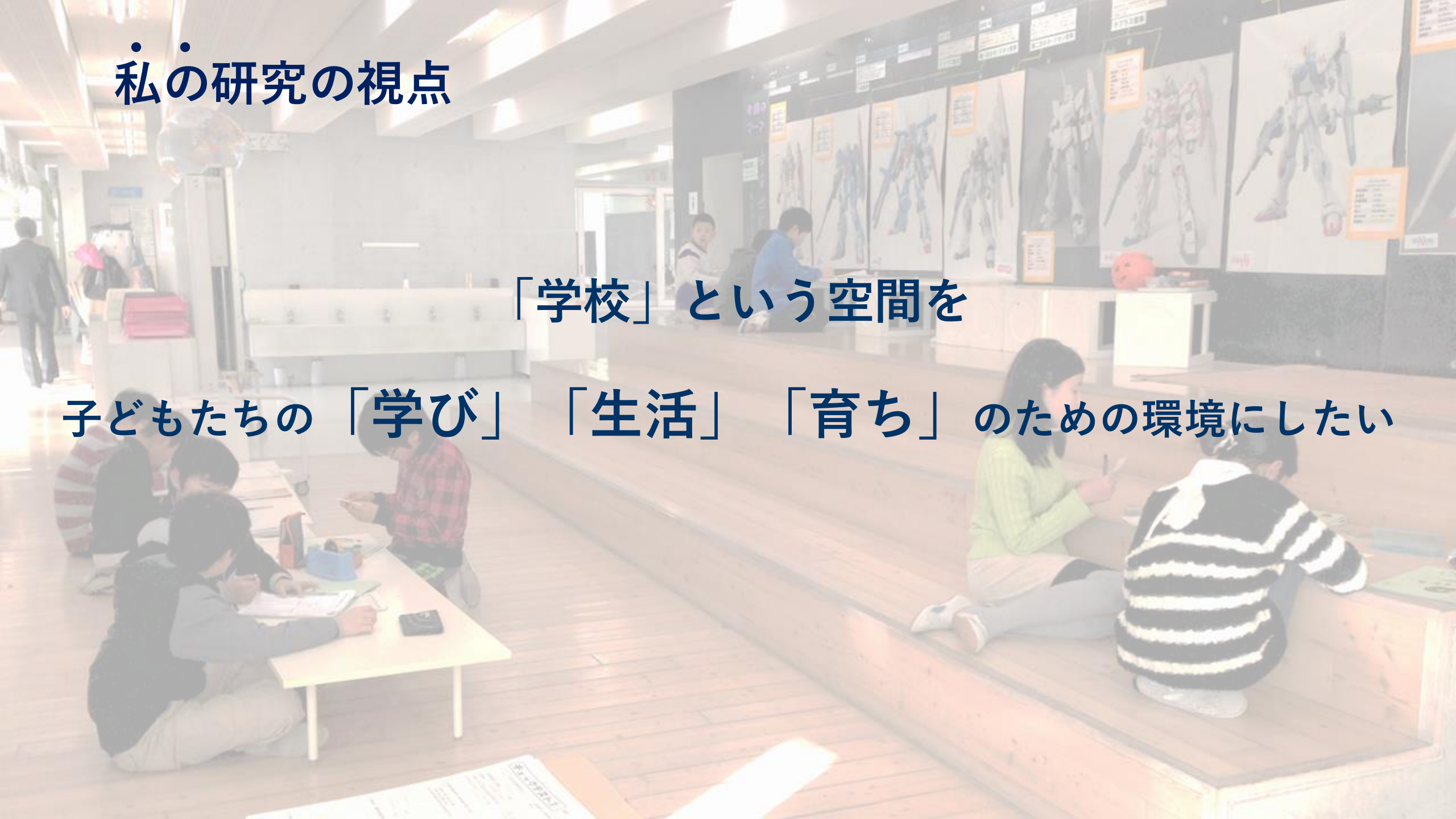
「新しい時代の学校施設検討部会」委員

「特別支援教育の在り方を踏まえた学校施設部会」委員　など

# 私の研究の視点

「学校」という空間を

子どもたちの「学び」「生活」「育ち」のための環境にしたい





# VUCA

の時代

(変動性)

(不確実性)

(複雑性)

(曖昧性)

→将来の予測が困難な状況

# 今日の学校を取り巻く状況

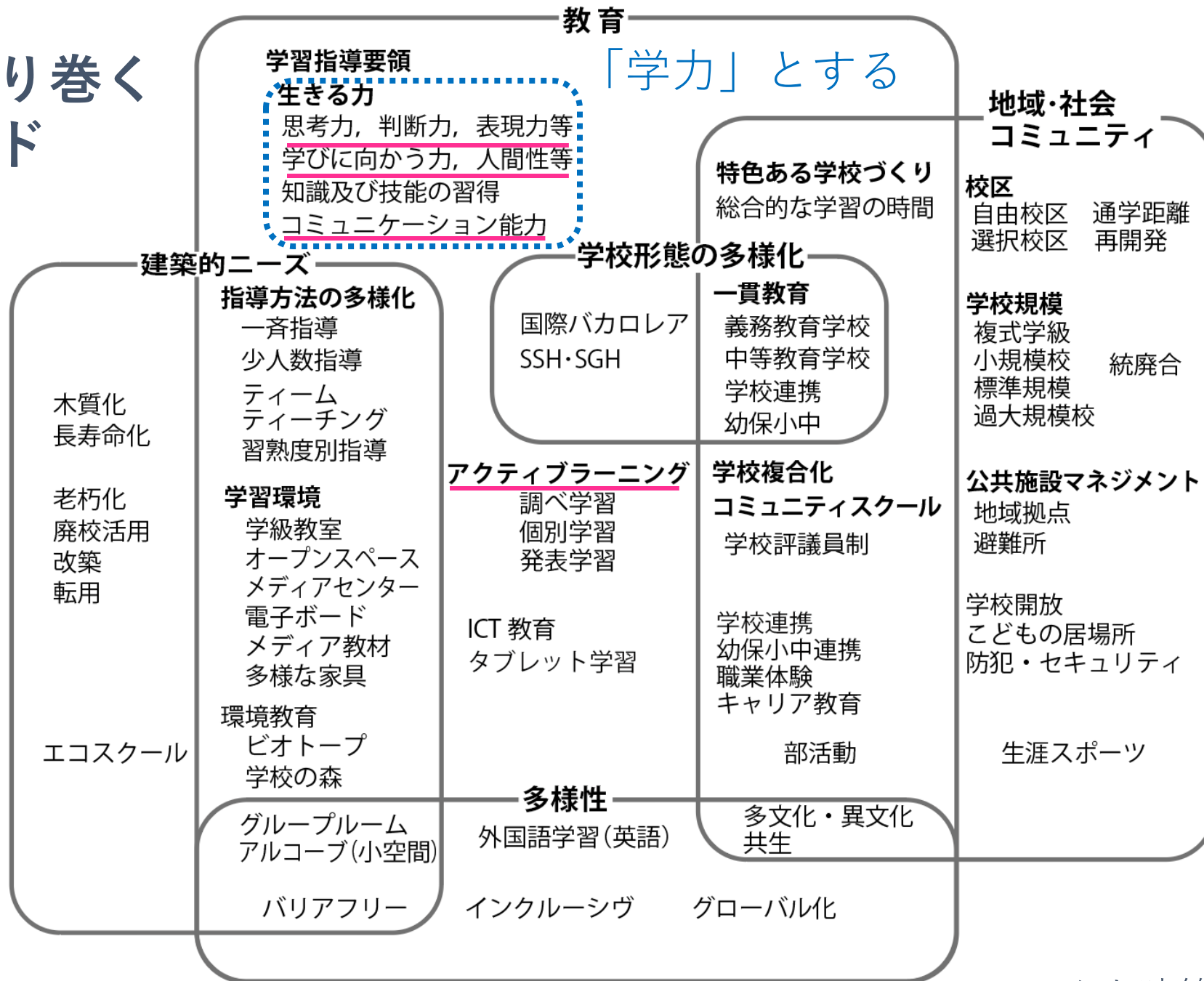
2020年スタート「学習指導要領」  
「個別最適な学び」  
「主体的・対話的で深い学び」  
「協働的な学び」等学び方が提示

「GIGAスクール構想」本格実施  
児童生徒「一人1台端末」  
「Wi-Fiによるネットワーク」完備

「令和の日本型学校教育」

↓  
「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」

# 学校を取り巻く キーワード



# 学校を取り巻く キーワード

教育

学習指導要領

生きる力

思考力, 判断力, 表現力等  
学びに向かう力, 人間性等

地域・社会

コミュニティ

特色ある学校づくり

## 学習指導要領

新しい「学力」観

### 生きる力

思考力, 判断力, 表現力等  
学びに向かう力, 人間性等

知識及び技能の習得

コミュニケーション能力

木  
長

老  
廃  
改  
転

エ  
コ

# 新しい学習指導要領スタート



どのように学ぶの? (主体的・対話的で深い学び)

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのよう

ように学ぶか」も重視して授業を改善します。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」  
と思える授業に



見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

> [主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について詳しくはこちら\(PDF:2.03MB\)](#)



令和3年から順次実施され始めた新しい学習指導要領では、これまで**学習内容のみ**を提示してきた**指導要領**の歴史で、初めて**教育方法**として

**「アクティブラーニング」**

を導入することが謳われた。

一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に

何を (WHAT) : 内容



どのように (HOW) : 方法

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

アクティブ・ラーニング

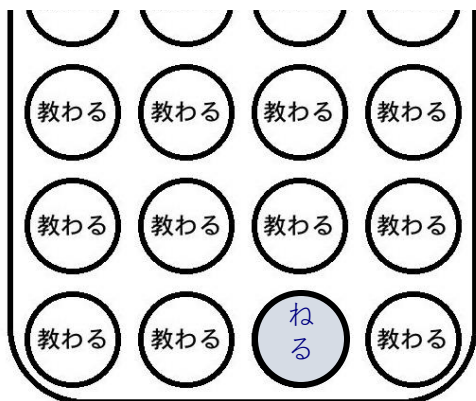
「主体的・対話的で深い学び」とは?

し、  
すカ

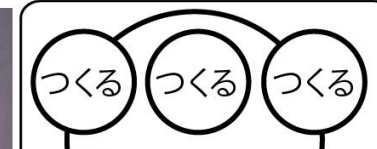
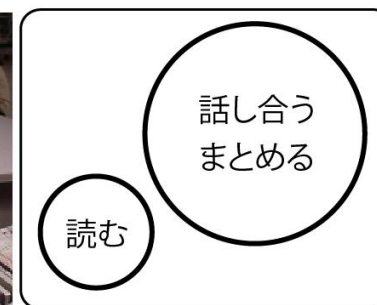
# オープンで多様な教育とは？ →→個別最適な学び・協働的な学び



伝統的な一斉授業。  
一場面で切り取られる活動が  
「教える－教わる」のみ



教わる＝読む・聞く・書くの複合



それぞれが主体的に学ぶ  
異なる活動が混在する  
「多様な学習」の風景



子どもたち一人ひとりに、  
学びの  
「時間」と「空間」を委ねる



# HYBRIDな時代 実空間の価値とは何か。

(Virtual空間) オンライン / オンサイト (Physical空間)

オンデマンド / オンタイム

カリキュラム / 余白時間

プログラム / 雑談

演習 / 失敗

必然 / 偶然

習得 / 経験

formal / informal

特に【学び方】の習得・出会いに  
実空間の価値は高いのではないか





# 学習環境 = 「教室」 ではない時代へ

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」では、**学校全体を学習環境として捉えていく**ことが謳われている。  
教室を出て校外，地域，国外へも**境界を越えて学びを求めていける時代。**

## →学級・学年・学校種はなんの境界？

ii-1 関係: 多様な学習活動が展開できる空間



ii-2 関係: 学習活動に柔軟に対応できる多目的な空間



ii-3 関係: ロッカースペースの配置を工夫した空間



# 9年間の学び舎



# 私の研究の視点

「学校」という空間を

子どもたちの「学び」「生活」「育ち」のための環境にしたい

**“環境を変えると、学び方は変わる”**



**“繋がりが広がると、「学校」は変わる”**  
**「9年間のこどもたちの学び舎」へ**

# 多様な「学び」を叶える学校づくり

秦野市が目指す「これから」をいきるこどもたちのための学校  
→ → → → → → → → → → 「**小中一貫の学びの環境**」

「**一貫教育**」が叶えようとしたこととは？

## 「小中一貫教育」のおさらい

- 2000年 広島県呉市「呉学園」
- 2003年 構造改革特区域研究科初学校制度創設  
→品川区, 三鷹市など全国的に取組が広がる
- 2008年 教育課程特例校制度創設  
→一貫校導入のハードル下がる
- 2016年 「**義務教育学校**」として全国的に制度化

呉市が叶えようとしたこと

- ①義務教育修了に相応しい  
**学力と社会性の育成**
- ②中1ギャップの解消
- ③**自尊感情**の向上

## 多様性の時代 こどもたちの「なぜ？」に答えられますか？

なぜ、小学校と中学校は（義務教育なのに）別々なの？

なぜ、中学生からは制服なの？

なぜ、小学生はランドセルなの？

なぜ、中学では教科担任制なの？

なぜ、部活動は中学校からなの？

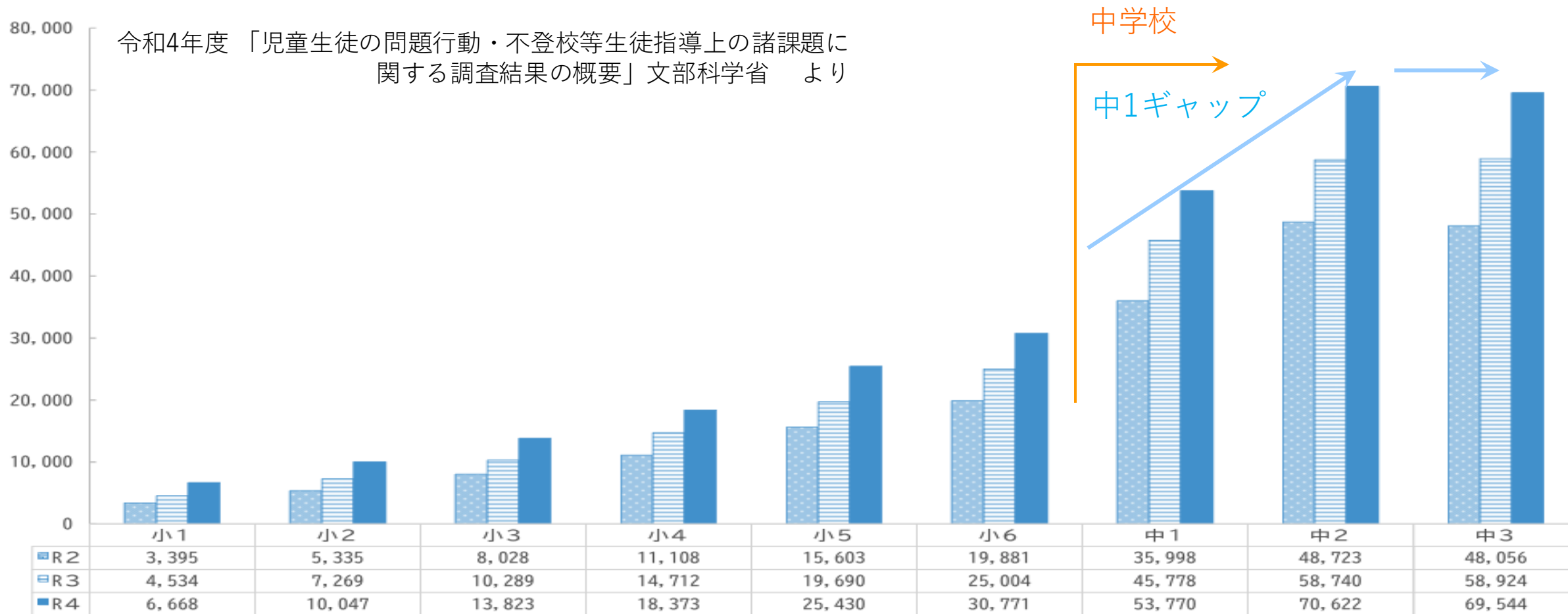
なぜ、小学校は児童で中学は生徒なの？

：

# 小中学校における不登校の状況

(人)

令和4年度 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」 文部科学省 より



中学校入学以降，不登校発生率が増加

→思春期の不安定な精神状態と授業方法，環境，学習内容の急激な変化が原因？

(中1ギャップ)

こどもたちの心身の成長に対応した柔軟な教育課程の必要性

# 小中一貫教育の学年編成

小学校6年間 + 中学校3年間でどう区切る？

4・3・2年制タイプ

併設タイプ

中学校	3	2年間：個性・能力を伸ばす →教科担任制による教科教室型	3年間 →教科担任制による教科教室型
	2		
	1		
小学校	6	3年間：学力の定着 →一部教科担任制を導入	高学年で一部教科担任制を導入
	5		
	4	4年間：基礎・基本の定着 →学級担任制	
	3		
	2		
	1		
		6年間→学級担任制	

全国的には、品川区を始めとする4・3・2年制タイプが増えているが、  
3・3・3や2・3・4等の提案も…

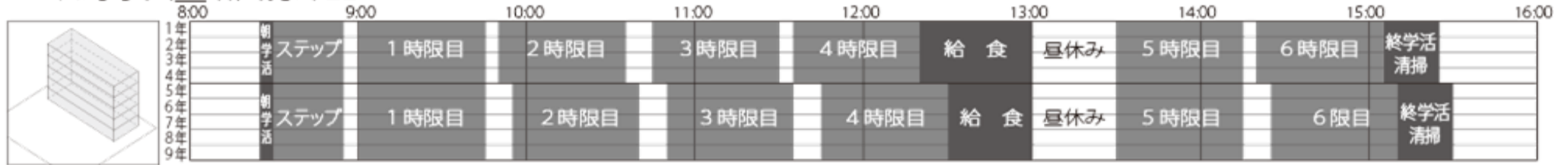
つまり…

地域、学校にあった自由な発想でこどもたちの環境を柔軟に考えられる

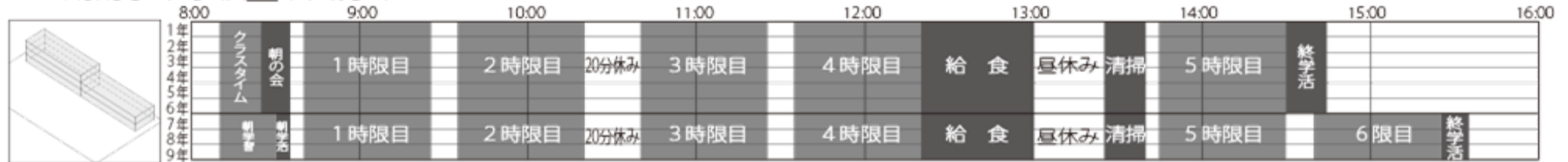


# 小中一貫教育の学年編成 → どう過ごす？

Hi: 日野学園 断面分節型

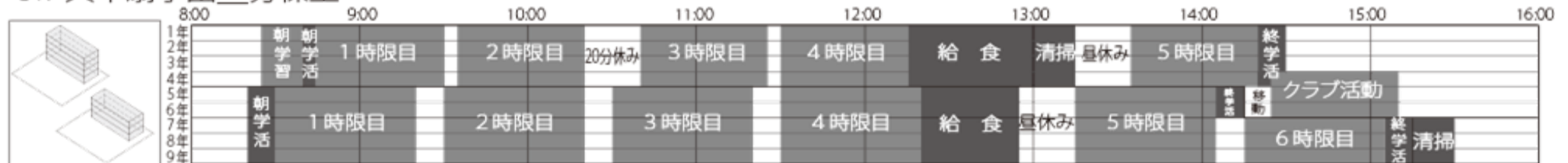


Ko: 湖南小中学校 平面分節型



**一体型校舎**の2校は、小学校、中学校ともに45分授業  
 中学は20~25分のモジュール授業を導入し不足を補う  
 他にも、小5年以上は50分授業とする学校もある

Ok: 興本扇学園 分棟型



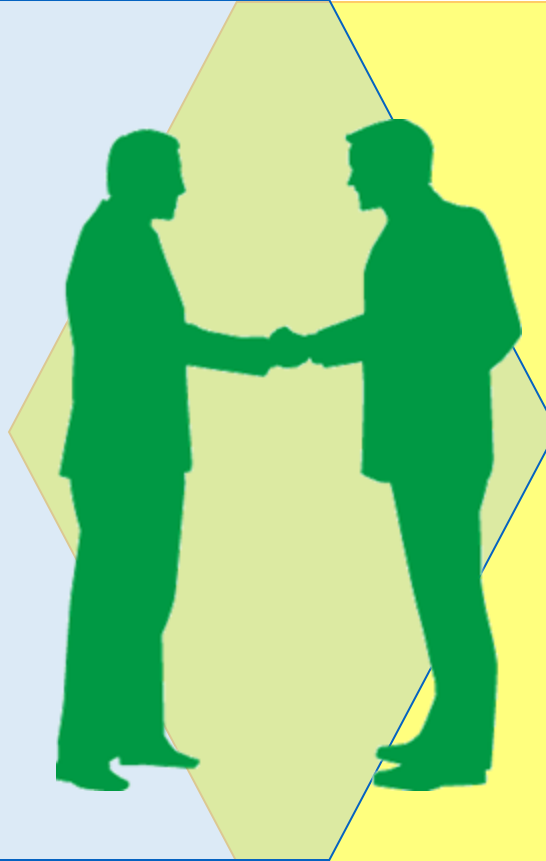
**分棟型**のOk学園では、小学校45分、中学校50分の**従来通りの授業時間**

# 教員の指導方針の統合

少し考え方が古いですが…

## 中学校

- ・ 教科ごとに専門化した学習指導  
(教科担任制)
- ・ 生徒の生活指導を中心とした学級
- ・ 進路の選択に向けてのサポート
- ・ 充実した部活動



## 小学校

- ・ 学級担任による学習・生活の一貫指導
- ・ 集団行動の習得, 社会性の育成
- ・ 基礎基盤の徹底
- ・ 教科への興味関心を引き出す

互いの文化をあわせてより良い学びの環境へ

# 『9年間のこどもたちの学び舎』

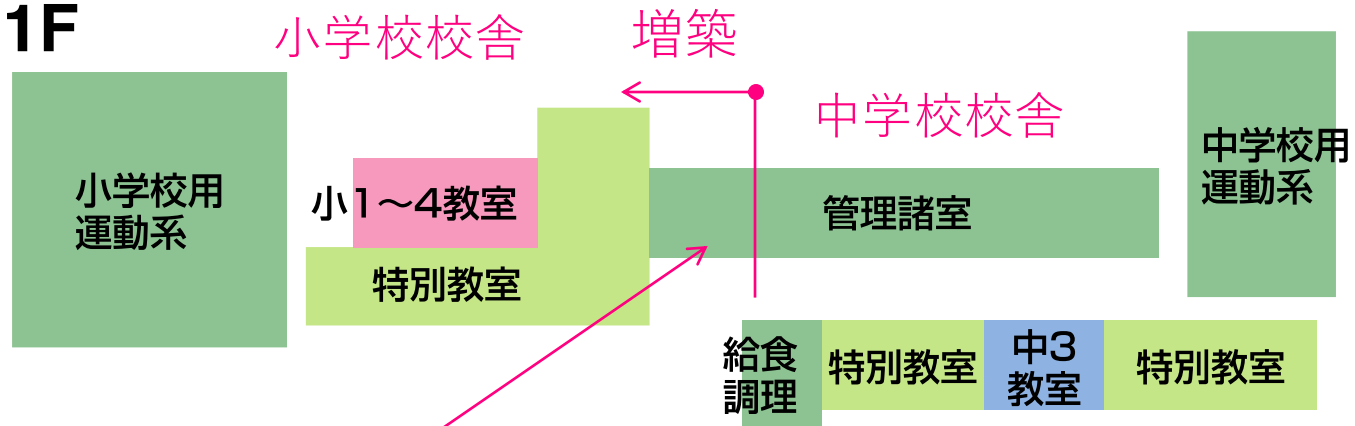
— 秦野の学校にどんなシーンをつくりたいですか —

# 小中一貫校の校舎 事例

## 郡山市立湖南小中学校

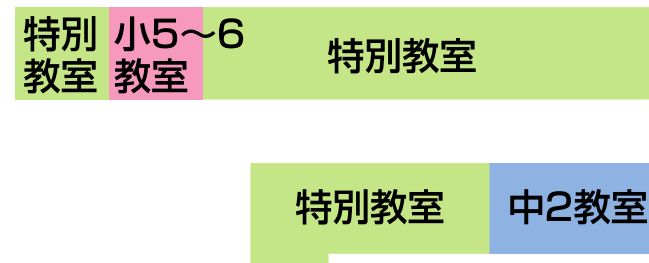
2005年開校 学年1クラスの小規模校。  
 深刻な少子化により統合中学校に**小学校部分を増築**して一体型校舎に転用した。  
 6・3制だが5年生から教科担任制も取り入れている。

1F

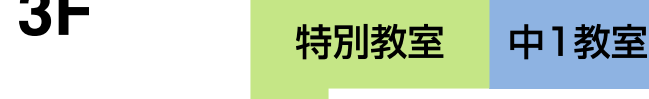


多目的ホール  
 小中連携活動や  
 交流の場となる

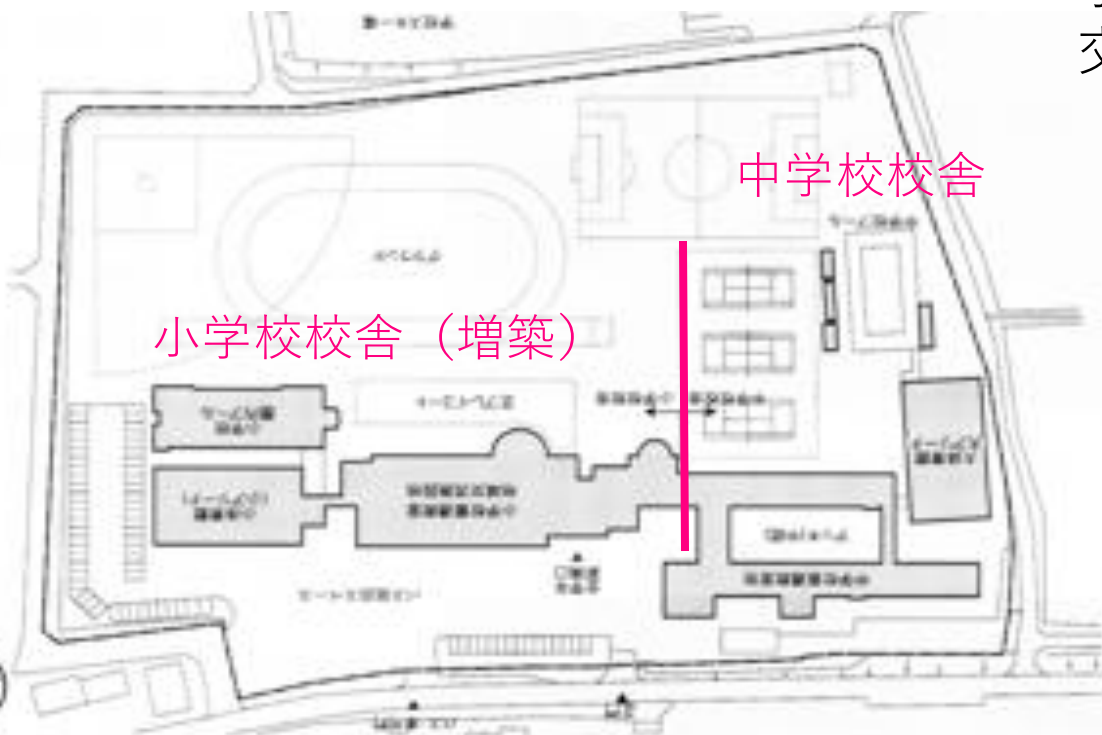
2F



3F



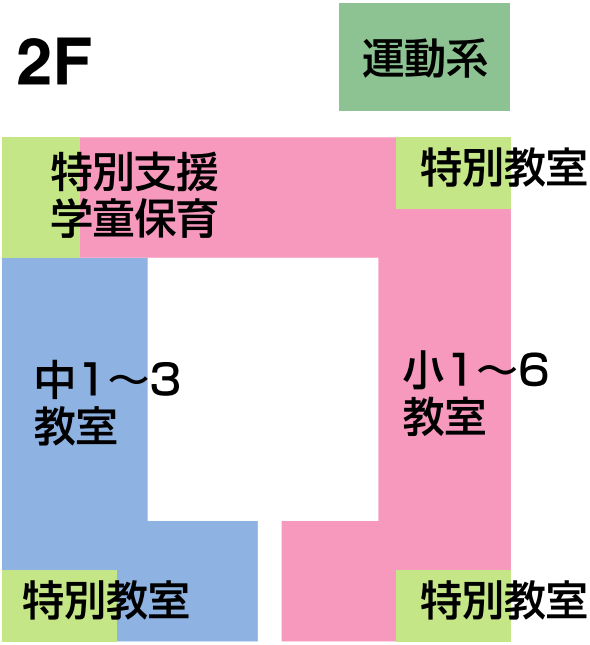
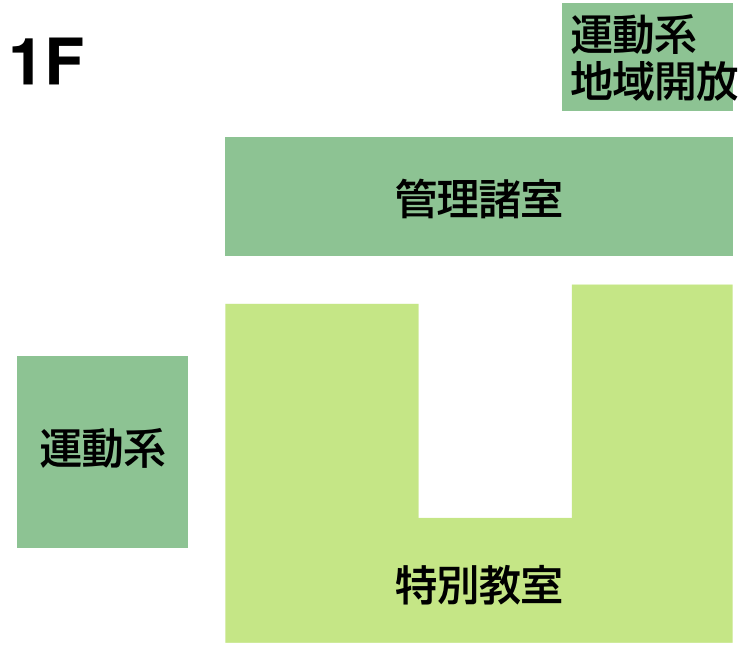
一体型 6・3システム  
 1～4年：45分+5分/5～中3：50分



# 小中一貫校の校舎 事例

## 箕面市立とどろみの森学園（大阪府）

2008年に一貫校としてスタート。ニュータウン地区に既存小学校と中学校の移転新築校として整備。2階の四隅と1階に小中で共用する特別教室を配置している口の字型の小規模校として計画されたが、開校後児童生徒数が想定以上となり、**こども園と併せて増築**。



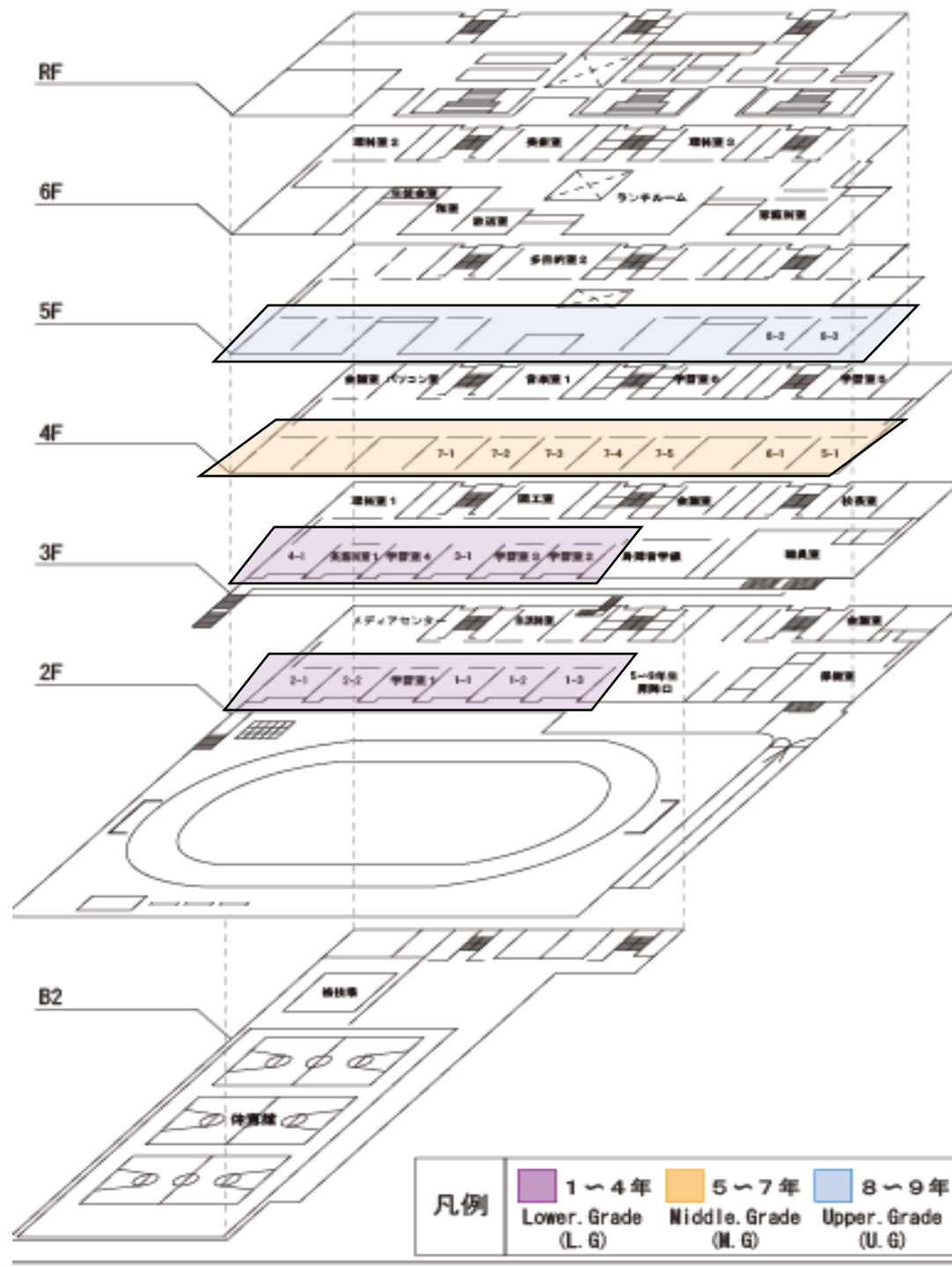
一体型 4・3・2システム  
1～4年：45分/5～中3：50分

計画時は学年1クラス規模で設計

休み時間は小中学生が一緒に遊ぶ姿も。

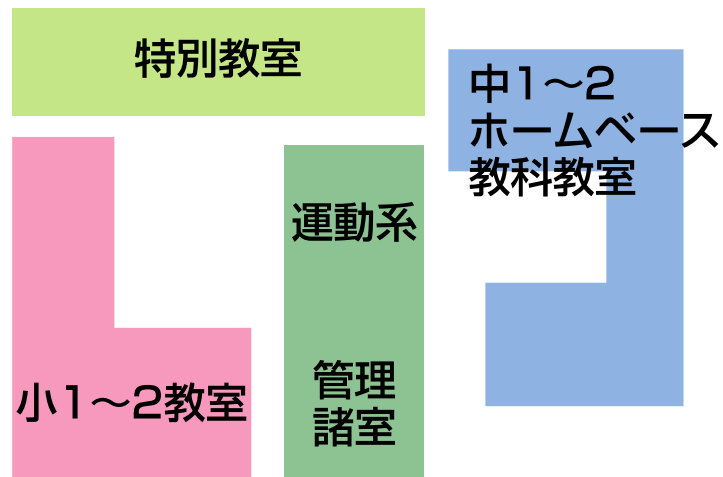


# 品川区立日野学園

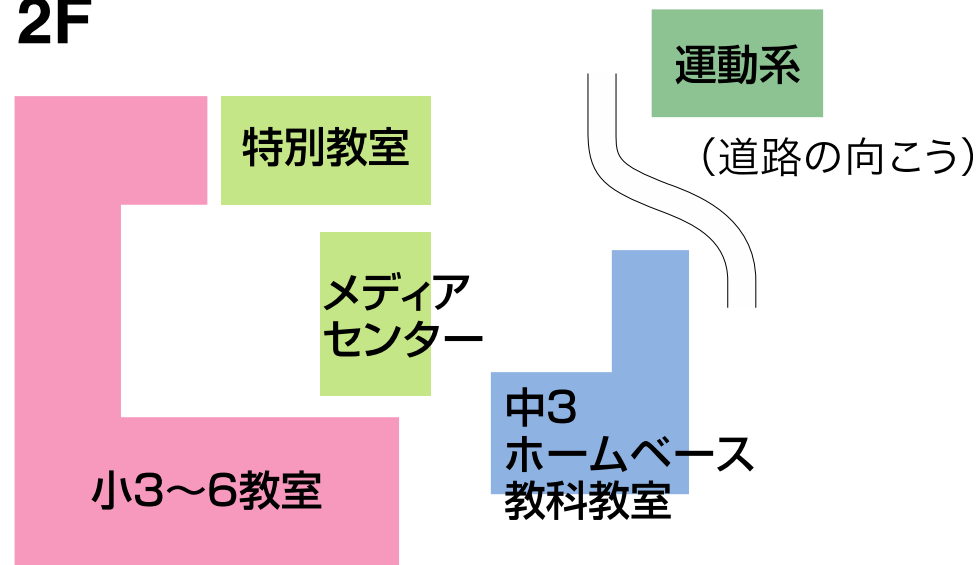


# 広島県府中市立府中学園

1F



2F



小学校20クラス，中学校11クラス（学年4クラスの計画）  
校舎全体を8の字型に構成し，小学校と中学校を中央の共有部  
で繋ぐ計画

2008年 府中学園・小中一体型校舎として竣工・開校 6・3システム  
小学校45分/中学校50分

→2017年 義務教育学校へ

中1, 2年HB



小1, 2年教室



小3~6年教室

中3年HB

# ミライをつくる学び舎

## — みんなの笑顔を育む場所づくり —

- 「これまで」の中にある「なんで？」に向き合おう
- 社会の「なんで？」に大人も子どもも **みんな**で立ち向かおう
- 先生も、子どもたちも、地域の人も、一人ひとりのペース、興味、やり方、 **個性を活かし、響きあおう。**
- 子どもたちは、小さな市民。地域の人材。共創，協働，共育の拠点として **学校という場の価値を高め合おう。**



A wide-angle shot of a bright, modern university hallway. In the foreground, several students are seated at long white tables, focused on their work. One student in a blue hoodie is on the left, while others are further down the table. The tables are cluttered with papers, folders, and small bags. In the background, the hallway is filled with more students, some standing and talking, others walking. The ceiling features recessed lighting, and the walls are light-colored. Large windows on the left side of the hallway let in natural light, and some posters or notices are visible on the wall. The overall atmosphere is one of a busy, active learning environment.

ご静聴ありがとうございました。

千葉工業大学 倉斗綾子





文部科学省  
学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム  
CO-SHA Platform

[TOP](#)

[私たちについて](#)

[相談窓口](#)

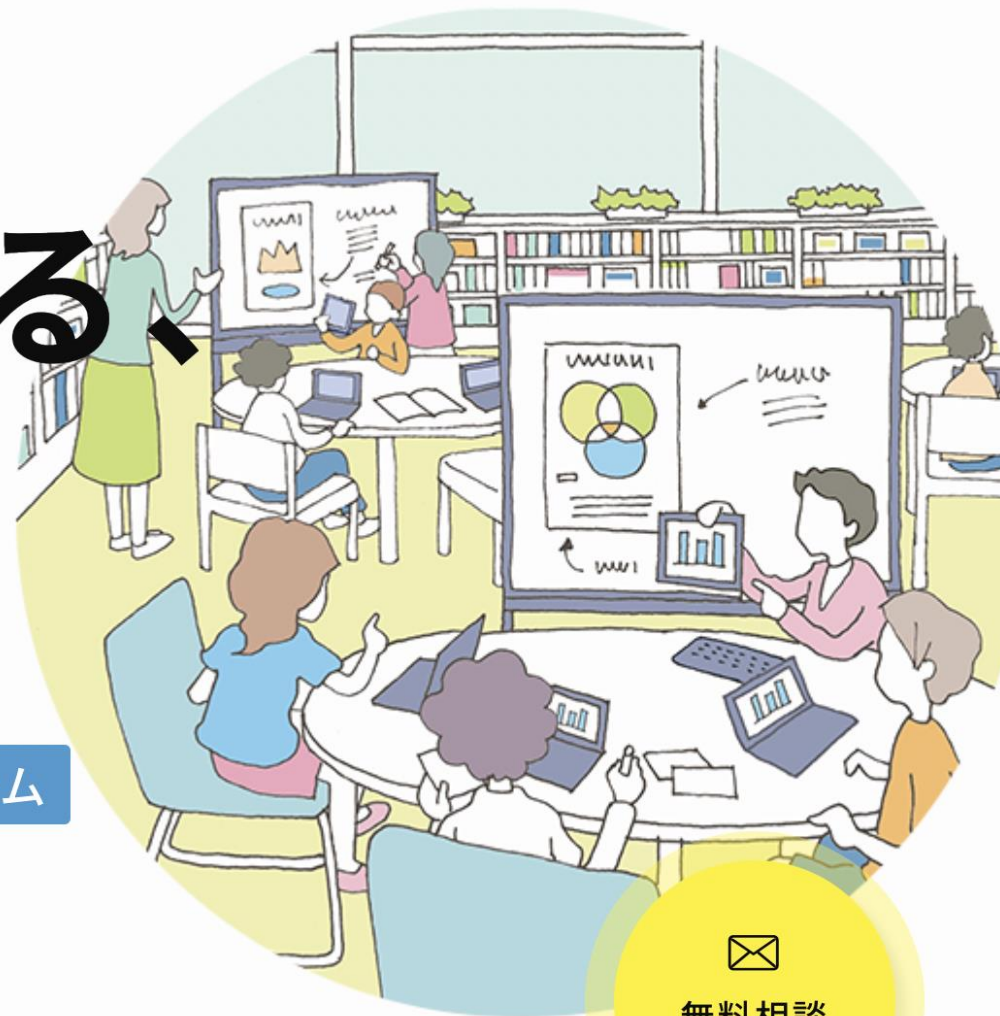
[学校づくりのアイデア集](#)

# みんなで作る、 明日の学校

学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム

コーシャプラットフォーム

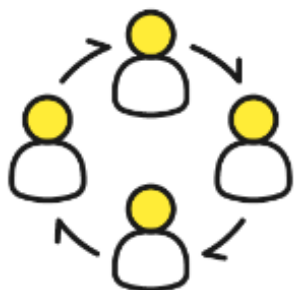
## CO-SHA Platform 誕生



無料相談  
受付中

# 学校の間作りを支援する3つの取り組み

01



## イベント& コミュニティづくり

未来の学校施設のあり方を探るワークショップを開催します。また、関係者の横のつながり作りを支援します。

[▼ 詳しくみる](#)

02



## 新たな学校施設づくりの アイデア集

学校施設を整備、活用するにあたって参考になる取り組み事例やアイデアを紹介します。

[▼ 詳しくみる](#)

03



## 無料相談窓口

初等中等教育段階の学校に関する知見を有する「CO-SHAアドバイザー」に専門的・技術的な相談ができます。相談料は無料です。

[▼ 詳しくみる](#)